

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

◎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

11月1日号への掲載の申込みは、9月22日(休)までに、
広報情報課 ✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

文化

歌人藤岡武雄先生と「すぎなの会」 短歌作品展

📅9月10日(出)～16日(休) (最終日は正午まで) 📍市民活動センター4階・ロビー
📞二ノ宮 ☎972・5438

酔陶会作陶展

📅9月23日(金・祝)～25日(日)午前9時30分～午後5時 (23日は午前11時から、25日は午後4時まで) 📍生涯学習センター3階・市民ギャラリー
📍陶芸を学ぶ仲間の作品展示 📍山本 ☎976・6664

スポーツ・健康

スポーツチャンバラ生徒募集

「公平と安全」そして「自由」を基本とする、子どもから大人まで誰でもできるスポーツです。見学・体験参加も随時受付
📅月3回(火曜日)午後7時～8時30分
📍月1,500円 📍三島市スポーツチャンバラ協会・甲斐 ☎090・4856・4023

三島市五十雀山歩会 新会員募集

📅毎月1回(原則月末日曜日)午前7時～午後5時 📍初・中・上級のコースがあり、年1回宿泊の特別山行をします。月に1回、下見登山・安全確認をして登山案内書を作成してあります 📍▶年会費：2,000円 ▶参加費実費：4,000円程度 📍成年男女 📍 岡古田 ☎973・1435 ※詳細は三島市五十雀山歩会 HP (<http://www4.tokai.or.jp/k1945xxx1118/>)

その他

司法書士による遺言・相続 無料相談会

📅9月17日(出)午後1時～4時 📍商工会議所3階・会議室 📍司法書士による相続登記や遺言書作成に関する無料相談会(1組30分程度) ※予約優先 📍▶事前予約：9月15日(休)までに静岡県司法書士会事務局 ☎054・289・3700 ▶当日受付：横山 ☎090・3422・5733

みしまのお寺めぐりの会 「坐禅会」会員募集

早朝の静寂の中、坐禅を組みませんか 📅9月25日(日)午前7時30分～9時 📍三島田町駅(集合)、福聚院(臨済宗建長寺派)(北田町6・11) 📍500円 📍20人 📍 岡みしまのお寺めぐりの会 ☎090・8132・8394

日本大学 体験型プログラム

📅①10月1日(出)②11月5日(出) 📍日本大学国際関係学部(文教町2・31・145) 📍①「心理学を通して世界を見てみよう!～日本人の見る世界・アメリカ人の見る世界～」
②「日本のおもてなし文化を体験しよう～日本大学旅館によろこそ～」 📍無料 📍①高校生②中学・高校生 📍 岡各1週間前までに日本大学国際関係学部・研究事務課 ☎980・0808 ※詳細は日本大学国際関係学部HP・エクステンション講座 (<https://www.ir.nihon-u.ac.jp/research/extension/>)

訪問看護師就業セミナー

📅①10月12日(休)、26日(休)②11月10日、17日(休)午前9時45分～11時45分 ※各初日から最終日までの間、希望日に3時間程度の実習 📍①コミュニティながいずみ(長泉町)②富士市ロゼシアター(富士市) 📍訪問看護の実際についてわかりやすく説明。託児サービスあり(要事前予約) 📍無料 📍看護職有資格者 📍 岡各開催日の前日(託児は10日前)までに静岡県訪問看護ステーション協議会 ☎054・297・3311 FAX 054・297・3312

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

【出演】



▲横内春佳さん



▲おじいクボマールさん

シン・今昔ちゃんねる

【毎週金曜日 午後4時～6時30分】

週末のイベント情報、素敵なゲストが盛りだくさん!今を感じる話題から、昔の懐かしい話題をパーソナリティ二人がお伝えいたします。

問合せ ボイス・キュー ☎981・8600

地域にピタッと!

ボイス・キュー

(エフエムみしま・かんのみ)

【番組情報】



VOICE CUE
FM 77.7MHz
<http://www.777fm.com>



歴史の小箱

No.411

勘兵衛が見た山中城(二)

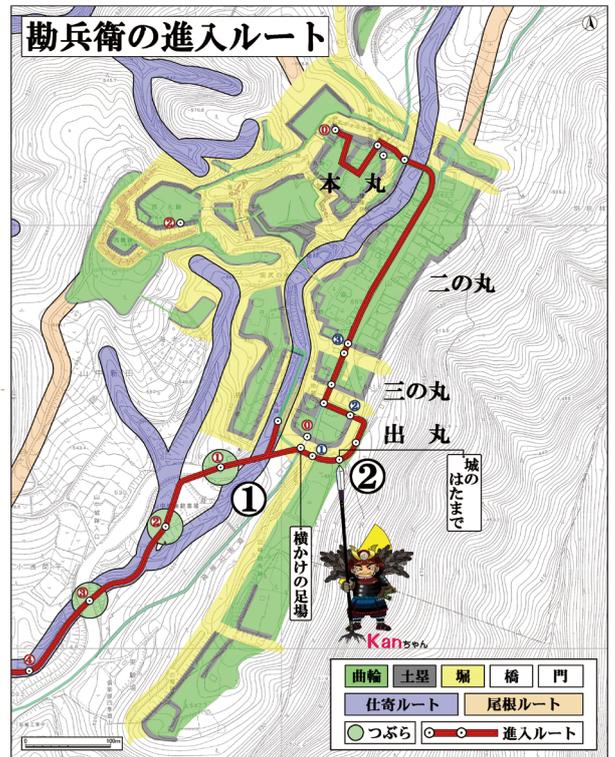
郷土資料館では、企画展「このへん道中いまむかし 富士・沼津・三島の観光」を開催中！（10月2日まで）

郷土資料館（楽寿園内）☎971・8228

三島市民がほこる山中城跡には、その攻防を詳細に記録した大変貴重な文字史料があります。史料は『渡辺勘兵衛武功覚書』といい、著者は「渡辺了」あだ名は「槍の勘兵衛」と呼称された戦国期から江戸時代前期の武将の手によるものです。本書は自らの功績を文章にして身上書とし、より良い石高いしかかを与えるくれる仕官先を得るためのもので、つまり、就職活動における履歴書のような文章でありました。

記録によると、勘兵衛は豊臣秀吉の小田原合戦（一五九〇年）において山中城の先鋒を命令された中村一氏なかつむらいちじに仕官しており、その功名を上げるため動き回っていました。

山中に到着した一氏は、出丸でまわ入口から十町（二〇九〇m）に



▲勘兵衛の進入ルート

陣を構え、命令どおり「仕寄」の準備をさせました。仕寄戦法は城内からの攻撃を回避して身を守る溝（塹壕）を谷部に掘り、敵陣に近づく戦法です。溝から出た土を「かきあげ」て防護壁を設置しながら、徐々に城の虎口（入口）に近づいていきます。途中一町（二〇九m）間隔に「つぶら」（円ら）兵をためる広場）と「づく」（築山）見張り台）を設営して出丸虎口の手前一町（图中①）にまで進入します。これで本戦前の準備が整いました。この作戦中、鉄砲による小競りあいがあり、すで

に戦闘状態にあったようです。このことから、わずか半日で落城したとの通説は誇張であったと思われる。

二十九日、勘兵衛は円ら築山に立ち、虎口を観察すると、三十間（五十四m）の「どい」（土壁）に囲まれた出丸と「横かけの足場」（板がはずされた橋脚）を確認しました。大した防御施設ではないと判断した勘兵衛は、騎乗して坂を登り足場前を通過、城の端（图中②）まで進入することに成功します。

（次回は10月1日号）



坪内 内巻(68才) さかえ(68才)
坪内 彩菜(6年)

私はおじいちゃんおばあちゃんが大好きです。
畑仕事で、夏にはきゅうりやスイカなどたくさん夏野菜を育てています。今年も黄色いスイカを食べるのが楽しみです。
毎朝学校へ行く時に、二人で手をふって見送ってくれてありがとう。私が一年生の時から続けてくれて、元気の源になっています。
これからも二人仲よく、いつまでも元気にすごしてほしいです。そして私に笑顔で手をふってほしいと思います。

わたしの
おじいちゃんおばあちゃん

当番 つぼうち あやなさん